威風堂々

西中の先輩が熱弁！
～卒業生に学ぶ進路学習会～

西崎中学校
校長 宮城 義隆

八月二十九日(金)に全校生徒を対象に「卒業生に学ぶ進路学習会」を開催しました。この学習会の発表者として、本校卒業の高校二年生、西里光晴さん【向陽】、知念美咲希さん【豊見城南】、小林桃子さん、新垣虹心さん【那覇西】、弓場美海さん、浅見琉翔さん【那覇】、栄盛まみさん、上原歓楓さん【糸満】、照屋遥斗さん、玉城郁斗さん【沖縄水産】、北姫愛々さん【那覇商業】、安里夏目さん【南部商業】の十二名に登壇して頂きました。発表者からは高校生活の様子や中学生のうちにやっていたほうが良いことなど、実体験に基づいたリアルな話を語ってくれました。参加した生徒からは「先輩方の話を聞いて、この高校はどんなところなのか、何をするのかを知ることができた。私はまだ進路を決めていないけど、先輩方のアドバイスを参考に自分の興味のある学校を見つけたい。」(中一女子)、「先輩たちの経験をもとに高校の良さを伝えていたので、リアルに自分だったら、と考えられたのが良かった。また中学生の間に『こういうことを強いられる』『目標をかかげて行動することが大事』『自分に合った高校を決めておくと良い』などのアドバイスもあり、自分のペースで頭を使いながら、自分なりの勉強法を見つけたい。」(中二女子)、「先輩方の話を聞いて『何度も繰り返し聞いて』『自分の言葉で思ったことを』『明確な目標を決め』『自分なりの勉強や進路を考えて』『確かな意識が高まった』などの先輩方のお話を聞いて、本当に発表者の皆さんが自分のことを考えてくれていることが分かりました。」(中二女子)

誰かを傷つけてしまったら？
～第二回いじめ防止ガイダンス～

九月三日(水)、全学級において第二回いじめ防止ガイダンスを実施しました。今回の目的は「相手を傷つけたときは、自分の間違いを認めて謝ることが良いことであることを理解する」で、生徒は事例を通して学びを深めました。生徒からは「自分は悪くないと思っていても、自分の行動で相手を泣かせてしまったのなら、謝ることが大切だと思った」などの感想がありました。

授業力アップを目指して！
～指導主事招聘研究授業～

九月一日(月)、一年五組において道徳の主事招聘研究授業を優先生が実践しました。この授業はオーロラに関連する読み物を通して自然に対する畏敬の念を深めようとする態度を育てることをねらいとしています。生徒たちは自分たちが感じた美しい自然と重ね合わせ、畏敬の念についての考えを深めたようでした。授業後は市教委の屋冨祖指導主事と共に授業研究会を実施しました。

校長の独り言⑱

たかが校歌斉唱、されど校歌斉唱

今年の夏もうだるような暑さが続いたが、沖縄県民にとっては別の意味で熱い夏だった。そう、沖尚が夏の甲子園で優勝という快挙を成し遂げてくれたのだ！沖尚の皆さん、本当にありがとう！選手たちの攻守に渡る活躍はもちろん素晴らしかったが、プレー以外に印象に残っている姿がある。それは校歌斉唱の場面だ。全選手が笑顔で元気よく歌っていたがその中でも、安谷屋選手が背中をそらせながら全力で熱唱してする姿はとても印象的だった。勝利の喜び、そして母校に対する思いを人目もはばからず、全力で素直に表現している姿を見て、毎回心が熱くなった。

さて、私たち西中生はどうだろうか？6月の地区中体連の野球では、勝利の後に選手とスタンドが一体となって校歌を熱唱する場面があることはあった。しかしながら1学期の始業式、終業式、そして 2 学期の始業式の校歌斉唱の場面ではささやくような小さい歌声しか聞こえず、とても寂しい気持ちになった。

私は西中のことが大好きであるが、西中の校歌も大好きである。メロディはもちろん「威風堂々、そびえ立つ～♫」、「誇りは高き、西崎中学校～♫」の歌詞は本当に大好きである。

西中生の皆さんよ、こんなに素晴らしい校歌を全力で歌わないのは本当にもったいない。私たちが愛する西中の愛する校歌を全校生徒で熱唱することで、学校が一つになり更により良い西中になっていくのではないだろうか！

西中生諸君！みんなで思いっきり歌い、みんなで思いっきり感動しようではないか！！

すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして